

「競技に際しての感染拡大防止ガイドライン」

競技全般について

※原則無観客（全空連の要請）ですが、選手1名に保護者1名までとします（厳守）。

※保護者の方は、検温表とともに入場証を持参して、当日受付へ提出してください。

（HPよりダウンロードできます）

※今後の感染拡大の状況によっては、この大会を中止する場合があります。

※開場にあたり、大会会場玄関前に並ぶことは厳禁とする。

※大会関係者及び大会参加者及び監督・コーチ及び観客の検温を実施するため、受付を設けます。その際に入場証を提出してください。（検温の結果、37.5℃以上の発熱がある人の入場は、お断りします。）

※競技場、練習場の出入りの場合は、必ず設置してあるアルコール消毒を徹底すること。

※トイレでの手洗いを徹底すること。

※ソーシャルディスタンスの確保。

審判について

※審判は全員マスクを着用すること。主審はコールをするのでマスクを着用し、更にフェースシールドを着用する。

※審判会議等の打ち合わせは、十分な距離をとり、密にならないよう行う。

※手洗い・手指消毒の徹底。

選手・監督・コーチについて

※監督・コーチは必ずマスクを着用すること。

※監督・コーチは大きな声で指導・指示しないこと。（試合中は原則、無言）

※選手は、メンホーを着用している時以外は、マスクを着用すること。

※選手は試合用の安全具（メンホー、拳サポーター、ボディプロテクター、帯などの共有は認めない）帯は、道空連で用意をしないので、必ず各自で用意すること。

※メンホーの口元は、飛沫が飛ばないように、アクリル等で保護する。

※大会を通じて、握手、ハイタッチ、ハグなどは行わないこと。

※手洗い、手指消毒の徹底。

保護者（応援者）について

※競技場、練習場には入らないこと。

※必ずマスクを着用すること。

※大きな声を出さないこと。

※手洗い、手指消毒の徹底。

終了後、新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会主催者に対して、各団体の長を通して速やかに報告してください。

個人 → 所属団体長 → 北海道空手道連盟 → （公財）全日本空手道連盟